BUFFALO 35012165-02

BSL-WS-G2108M かんたん設定ガイド

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 パッケージ内容/各部の名称とはたらき

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□スイッチ(本体) 1台

1. インジケーター

POWERランプ(緑)
点灯:電源ON
消灯:電源OFF

USBランプ(緑)
点灯:USBメモリー挿入時
点滅:USBメモリーアクセス時
消灯:USBメモリー脱着時

Link/ACTランプ(緑)
点灯:リンク確立時
点滅:データ送受信時
消灯:リンク未確立時

DIAGランプ(緑/赤)
緑点灯:正常
赤点灯:起動/自己診断中、ハードウェアリセットスイッチ動作時
赤点滅:ループ検出時
消灯:通常時

1000/100/10ランプ(緑/橙)
緑点灯:1000Mリンク確立時
橙点灯:100Mリンク確立時
消灯:10Mリンク確立時、またはリンク未確立時

2. 電源コネクター

付属の電源ケーブルを接続します。

3. 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tポート

各ポートは、Auto Negotiationをサポートしています。最適なデュプレックスモード(半二重/全二重)と通信速度(1000/100/10Mbps)を自動的に選択します。
また、各ポートはAUTO-MDIX対応です。相手のポートタイプを自動判別して接続するため、ストレートケーブルとクロスケーブルを使い分ける必要はありません。

⚠注意
- 通信速度やデュプレックスモードなどを固定で設定すると、AUTO-MDIX機能が無効となります。
- 1000BASE-Tで使用する場合、接続ケーブルはカテゴリー5e以上に対応したIEEE802.3abに適合したものを接続してください。

4. USBポート

USBデバイス接続用のポートです。USB1.1、FAT32のみ対応です。製品出荷時の状態でUSBメモリーが挿入されています。(FAT32フォーマット済み)

5. リセットスイッチ

このスイッチをDIAGランプが赤色に点灯するまで(約3秒間)押すと、本製品の設定内容を出荷時設定に戻すことができます。
※リセットスイッチは初期状態で有効設定です。
※WEB UI上でリセットスイッチを無効に設定した場合、リセットスイッチは動作しません。

□USBメモリー(本体装着済み) 1個
□電源ケーブル(AC100V 用) 1本
□3P-2P 変換コネクター........ 1個
□ゴム足........ 4個
□電源ケーブル抜け防止バンド........ 1個
□壁取り付け金具........ 2個
□金具固定用ネジ........ 8本
□シリアルNo シール........ 1式(2枚)
□かんたん設定ガイド(本紙)........ 1枚
□安全にお使いいただくために必ずお守りください(保証書つき)........ 1枚
□BSLシリーズユーティリティCD... 1枚

※付属のUSBメモリーは、1年保証となります。保証期間を過ぎて故障した場合は、当社製品「RUF2-PS4GS-BK」または「RUF2-PS8GS-BK」をお買い求めください。
※本製品は、本紙によってセットアップができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。本紙よりも詳細な情報が必要な場合は、当社ホームページで公開している「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 設置について

本製品は、平らな場所や壁、19インチラックに設置することができます。

平らな場所に設置する

本製品を平らな場所に設置する場合は、本製品底面に付属のゴム足4個を取り付けてください。

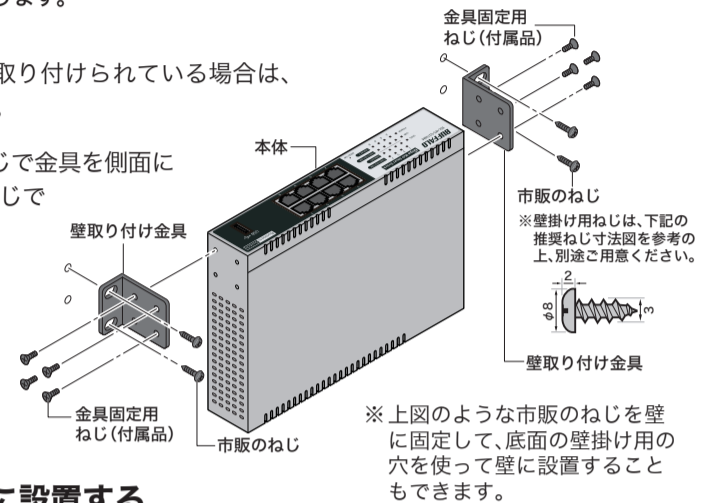
⚠注意
- 本製品には、底面にも通風口がありますので、必ずゴム足を取り付けて設置してください。
- 本製品を複数台設置する場合は、積み重ねないでください。

壁に取り付ける

本製品を壁に取り付ける場合は、壁取り付け金具、金具固定用ねじ、壁取り付け用ねじを使用してください。

⚠注意 ねじ止めは確実におこなってください。取り付けが不十分な場合、落下などにより事故が発生するおそれがあります。

1 本製品にゴム足が取り付けられている場合は、ゴム足を外します。

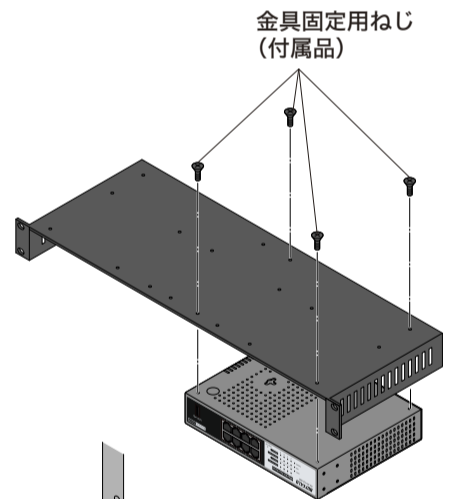
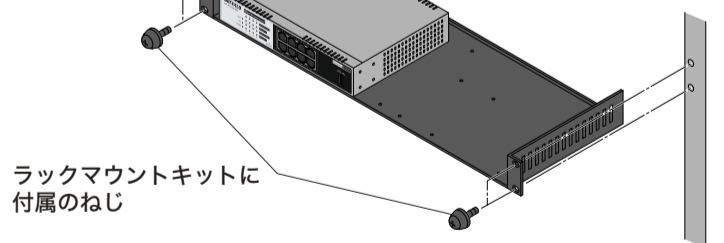
2 本製品に付属のねじで金具を側面に取り付け、市販のねじで壁に固定します。

※上図のような市販のねじを壁に固定して、底面の壁掛け用の穴を使って壁に設置することもできます。

19インチラックに設置する

本製品を19インチラックに設置する場合は、別売のラックマウントキット(BIJ-RMK-1U)、ラックマウントキットに付属のねじ、本製品に付属の金具固定用ねじを使用してください。

⚠注意
- ラック内の温度は室温より高くなりやすいため、ラック環境の温度が指定された動作温度範囲であることを確認してください。
- ラックに取り付けた装置の上に他の装置を積み重ねないでください。
- ラックに電力を供給する回路が過負荷にならないようにしてください。
- ラックに取り付けた装置は、適切にアースされていなければなりません。供給電源接続時は、主電源への直接接続時以上に注意してください。
- ねじ止めは確実におこなってください。取り付けが不十分な場合、落下などにより事故が発生するおそれがあります。

1 本製品にゴム足が取り付けられている場合は、ゴム足を外します。

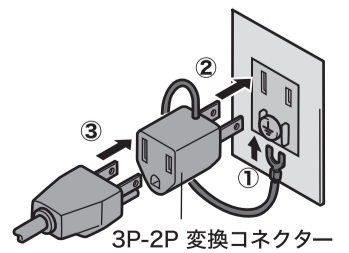
2 本製品に付属の金具固定用ねじを使って、本製品と別売のラックマウントキット(BIJ-RMK-1U)をねじ止めします。

3 ラックマウントキット(BIJ-RMK-1U)に付属のねじ4本で、19インチラックに固定します。

ステップ3 セットアップする

本製品のセットアップは、以下の手順でおこないます。

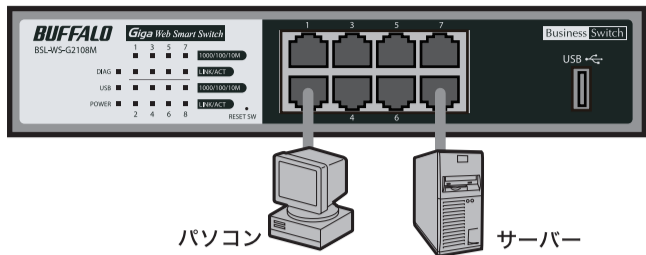
1 付属の電源ケーブルを使って、本製品をコンセントに接続します。

2 前面パネルのPOWERランプが点灯していることを確認します。
POWERランプが点灯しない場合は、電源ケーブルが正しく接続されているかどうかを調べてください。

⚠注意 ACコンセントが2極のとき
付属の3P-2P変換コネクターを使って、ACコンセントに接続します。感電防止のため、アース線は必ず接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。
※ 電源ケーブルおよび3P-2P変換コネクターは、必ず本製品付属のものをお使いください。

3P-2P 変換コネクター

うら面へつづく

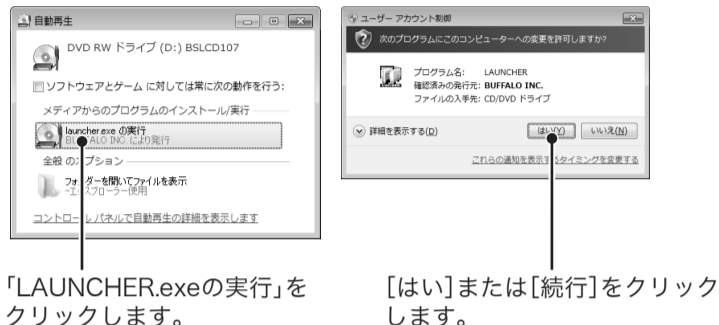
3 LANケーブル(別売)で、本製品、サーバー、パソコンなどを接続します。
ケーブルを接続したポートのLINK/ACTランプが点灯することを確認してください。

< 接続例 >

4 管理者パソコンを起動します。

5 「BSLシリーズユーティリティCD」を管理者パソコンにセットします。

⚠注意 以下の画面が表示されたら？(Windows 7/Vista の場合)

「LAUNCHER.exeの実行」をクリックします。

[はい]または[続行]をクリックします。

6 「BSLシリーズユーティリティ」が表示されます。

①「IP設定ユーティリティをインストールする」を選択します。

②[実行]をクリックします。

7 インストーラーが起動しますので、[OK]をクリックします。

8 使用許諾契約を読み、同意できる場合は[同意]をクリックします。

9 [次へ]をクリックします。

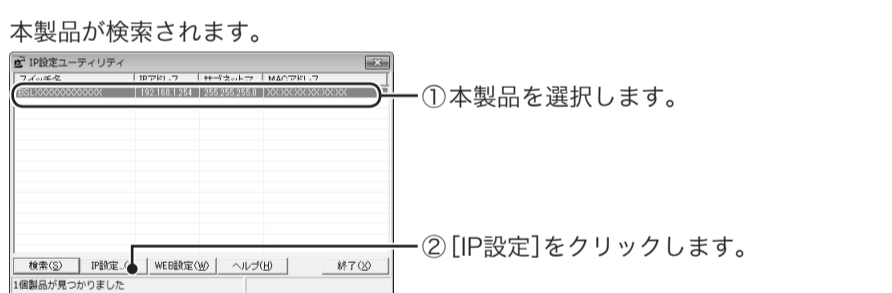
10 「IP設定ユーティリティのインストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

11 「スタート」－「(すべての)プログラム」－「BUFFALO」－「BSLシリーズユーティリティ」－「IP設定ユーティリティ」を選択して、IP設定ユーティリティを起動します。

12 本製品が検索されます。

①本製品を選択します。

②[IP設定]をクリックします。

13

①本製品に設定するIPアドレスを入力します。

設定例:
パソコンのIPアドレスが192.168.11.10の場合
本製品のIPアドレス 192.168.11.150

②[OK]をクリックします。

14 本製品のIPアドレスが変更されたら、設定画面を表示します。

① 本製品を選択します。

※DHCPサーバーからIPアドレスを取得する設定にした場合、IPアドレスの取得にしばらく時間がかかる場合があります。IPアドレスが、「0.0.0.0」と表示されているときは、[検索]をクリックして、再度本製品を検索してください。

② [WEB設定]をクリックします。

15

① ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、
「ユーザー名」欄 →admin(小文字)
「パスワード」欄 →password(小文字)
と入力します。

② [OK]をクリックします。

16 設定画面が表示されます。

画面左の設定メニューから設定したい項目をクリックし、設定をおこなってください。

当社ホームページで公開しているユーザーズマニュアルには、VLAN設定などの各種設定や設定事例が記載されています。本製品の設定をおこなう前にお読みください。

以上で、セットアップは完了です。

ユーザーズマニュアルを読むには

本製品の設定画面の説明や詳細設定、トラブルシューティングをご覧になりたい場合は、下記の手順でユーザーズマニュアルを参照してください。

1 当社ホームページ(http://buffalo.jp/download/manual/)を表示します。
2 製品型番入力欄に「BSL-WS-G2108M」と入力して、[検索する]をクリックします。
3 表示された製品名をクリックします。
4 「ユーザーズマニュアル」をクリックします。

パスワードについてのご注意

本製品に設定したパスワードを忘れると、設定画面が表示できなくなります。
その場合は、リセットスイッチを押すことで、ご購入時の状態に戻すことができます。
※ リセットスイッチが無効に設定されている場合は、当社修理センターに送付いただき、有償修理となります。

仕様

■製品仕様

LANインターフェース	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3ab(1000BASE-T)準拠
伝送速度	10/100/1000Mbps
スイッチングデータ転送方式	ストア&フォワード
伝送路符号化方式	マンチェスターコーディング(10BASE-T) 4B5B/MLT-3(100BASE-TX) 8B1Q4/4D-PAM5(1000BASE-T)
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度 (スループット)	14881パケット/s(10BASE-T) 148810パケット/s(100BASE-TX) 1488095パケット/s(1000BASE-T)
バッファー容量	512KB
Jumboフレーム	最大 2KB受信、9KBスイッチング可能
アドレステーブル	8192件(自動学習方式)
適合ケーブル	カテゴリー3以上 2対UTP/STPケーブル(10BASE-T) カテゴリー5以上 2対UTP/STPケーブル(100BASE-TX) カテゴリー5e以上 4対UTP/STPケーブル(1000BASE-T)
伝送距離	100m
ポート	RJ-45型モジュラージャック×8(全ポートAUTO-MDIX対応)
電源電圧 / 消費電力	AC100V 50/60Hz / 最大9.6W
外形寸法 / 重量	W200×H41×D161mm / 1.3kg
動作環境	温度:0℃～45℃、湿度:10%～85%(結露なきこと)
取得規格	VCCI ClassA、FCC Class A、UL60950-1

■主な出荷時設定

機能	パラメーター	出荷時設定
IP設定	スイッチ名	BSL + 本製品のMACアドレス
	IPアドレス / サブネットマスク	192.168.1.254 / 255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	DHCPモード	無効
認証	ポート認証	全ポート:「認証しない」
セキュリティ	ユーザー名 / パスワード	ユーザー名:admin パスワード:password

※ すべての出荷時設定値については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

本製品について
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。
・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。
・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

Federal Communications Commission (FCC) Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received,
including interference that may cause undesired operation.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

かんたん設定ガイド
2013年 1月 10日 第2版発行 発行 株式会社バッファロー